

[14] 哲学論文集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/27539>

出版情報：哲学論文集. 14, 1978-09-20. 九州大学哲学会
バージョン：
権利関係：



五十二年度大会報告

○春季例会

六月十一日九大文学部会議室において開催され、研究発表の題目と発表者はつぎの通りです。

一 デカルトにおける「観念のレアリタス・オブエクティワ」について

山下 登

二 ロックの「一次性質」と「二次性質」について

藤井 誠

三 カントの「観念論論駁」考

井上 義彦

山下氏は昭和五十年九大文学部大学院博士課程（倫理学）を中退され、現在は九大文学部倫理学科助手として勤務しております。

藤井氏は昭和四十七年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は久留米大学に勤務しております。

井上氏は昭和四十二年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は長崎大学に勤務しております。

○秋季大会

九月二十四日九大文学部会議室において開催され、研究発表の題目と発表者はつぎの通りです。

一 デカルトにおける知性（intellection）について——想像（imagination）と関連させて——

西本 恵司

二 「笑い」について

波多江 忠彦

三 カントの主観概念について

香川

豊

西本氏は現在九大文学部大学院博士課程（倫理学）で研究を続けておられます。

波多江氏は昭和四十九年九大文学部大学院博士課程（倫理学）を中退され、現在は第一経済大学に勤務しておられます。

香川氏は昭和四十九年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は甲南女子大学に勤務しておられます。

なお、本号より当該年度の大会発表の要旨を掲載することになりました。今回は山下、藤井、井上、波多江、香川の各氏が辞退されましたので、西本氏のみ掲載となりました。